

企画・プロデュース：土屋敏男

『過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい 写真家 森山大道』
監督・撮影・編集：岩間玄



「モノ作り」の未来を照らす愛と情熱と熱狂の旅の記録



わたの まち、 応答 セヨ

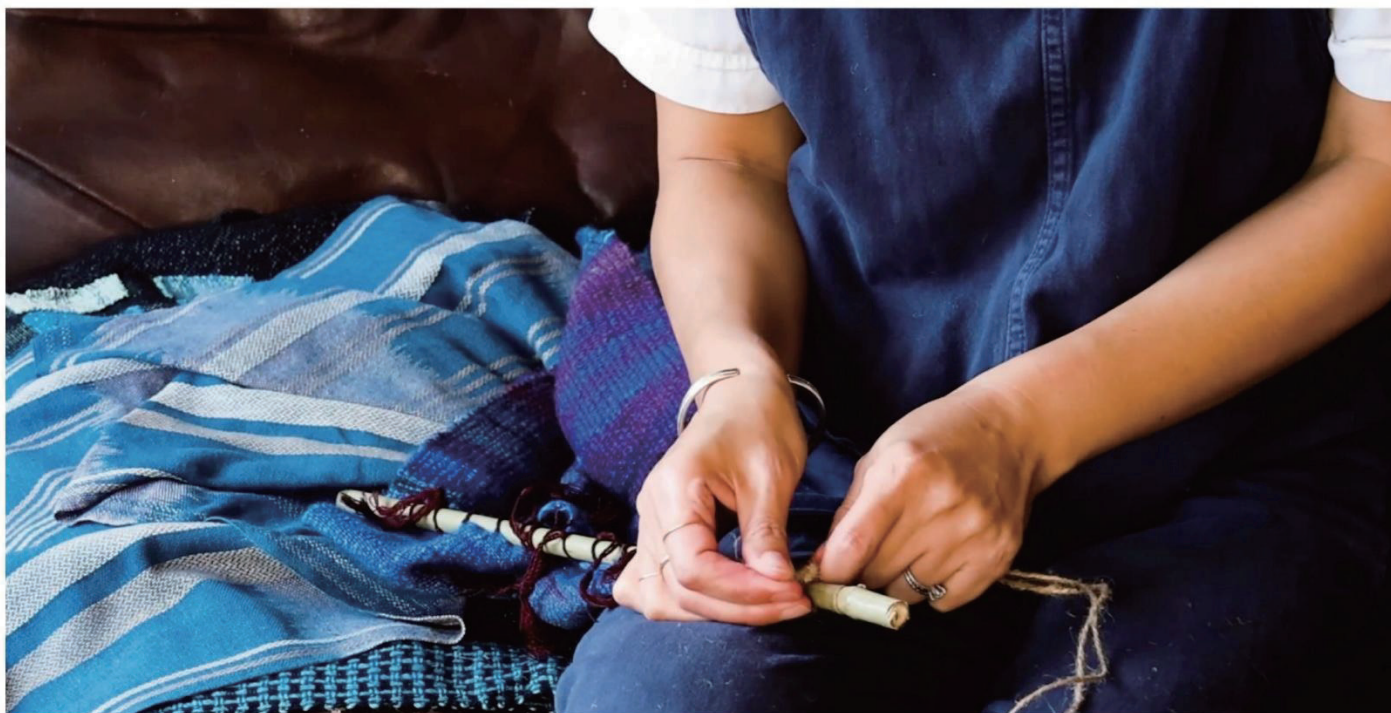
語り：岸井ゆきの

わたを紡いで蒲郡からロンドンへ
映画が奇跡を起こす

企画・プロデュース：土屋敏男 監督・撮影・編集：岩間玄 語り：岸井ゆきの
Sponsored by 映画『わたのまち、応答セヨ』プロジェクト委員会
配給・宣伝：錦正 JAYMEN TOKYO
©ゴテンツ 2024/日本映画/99分/ビスタ/DCP/5.1ch
HP:watanomachi.com X:@watanomachi

Contents ON THE SCENE...





企画・プロデュース: 土屋敏男 監督・撮影・編集: 岩間玄 語り: 岸井ゆきの

映画が「繊維の街」に奇跡をもたらす

トンネルを抜けるとそこには「わたのまち」がある…そう思い込んでいた。「街の繊維産業に光を当てる映画を作ってほしい」と市の依頼を受け、三河・蒲郡市を訪れた監督は途方に暮れた。1200年前、日本に初めて綿花がもたらされた街。戦後、衣類が不足する中、織れば飛ぶように売れた空前の好景気で朝から晩まで街のあちこちで「ガチャン、ガチャン」と音が鳴り響いていた。しかし、かつての活気は失われ、織機の音も聞かなくなってしまった。そこにあるのは、街の構造的な問題と人々の諦めムードだった。ここに描くべき希望があるのか？ 映画制作は難航を極める。そんな中、わたを種から育て紡ぐ80歳の職人と出会い、映画作りがその職人の背中を押し、街を揺さぶり、人々の眠っていた情熱が燃え上がっていく。そして、舞台は蒲郡からロンドンへ怒涛の如く展開し、日本のモノ作りの本気が、海を越えて人々の心を掴み、「繊維の街」に奇跡をもたらす。

2020年、「過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい 写真家 森山大道」でデビュー、世界にインパクトを与えた映画監督・岩間玄が、「進め! 電波少年」などのテレビ界の伝説的プロデューサー・土屋敏男とがっぷり四つに組んで贈る迫力と感動のエンタメドキュメンタリー。映画制作に苦闘する二人はやがて「モノ作りとは何か?」という自らの覚悟をも試される展開を迎えていく。語りは『ケイコ 目を澄ませて』(22)で第46回日本アカデミー賞最優秀主演女優賞受賞ほか数々の賞を受賞した岸井ゆきの。これは決してこぞんまりした産業映画ではない。それどころか、作り手も被写体も予想だにしなかった方向に転がり出し、予定調和を次々と破壊する再生と復活への狼煙の物語である。



わたのまち、応答セヨ

企画・プロデュース: 土屋敏男 監督・撮影・編集: 岩間玄 語り: 岸井ゆきの

Sponsored by 映画『わたのまち、応答セヨ』プロジェクト委員会

配給・宣伝: 鈴正 JAYMEN TOKYO

©ゴンテンツ 2024/日本映画/99分/ビスタ/DCP/5.1ch Contents ON THE SCENE ...

HP: watanomachi.com X: @watanomachi

ads.channel
地上デジタル CATV
122 (12ch) 201

10月12日(月・祝) 20:00放送